

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第16週 （4月15日～4月21日）

★県内での感染症発生状況

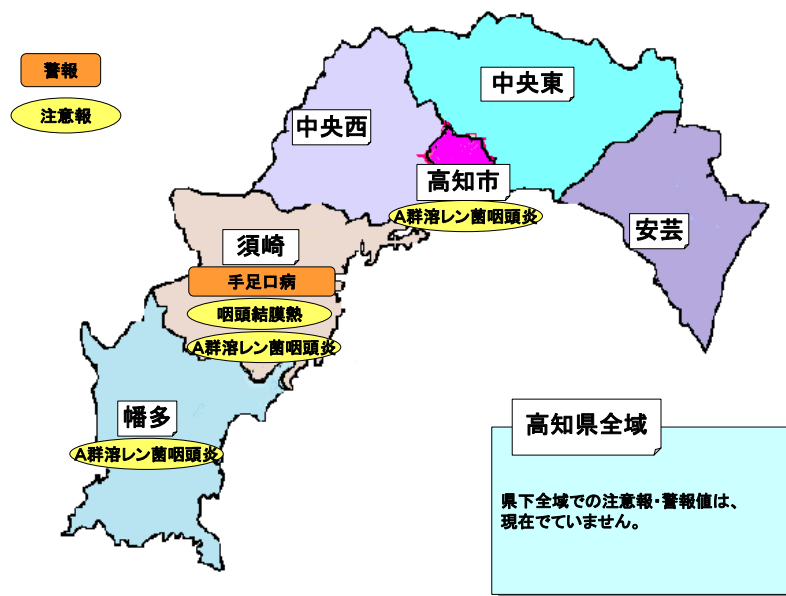
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	3.36	須崎で減少していますが、幡多、中央東、安芸で急増しています。
新型コロナウイルス感染症	→	2.70	中央西、中央東で急減していますが、高知市、須崎で増加しています。
感染性胃腸炎	↓	1.76	安芸で急減、高知市、須崎で減少していますが、中央東で急増、幡多で増加しています。
手足口病	↑	0.88	中央東で減少していますが、須崎、高知市、中央西で急増しています。
インフルエンザ	↓	0.82	幡多、高知市、中央西、安芸で急減、中央東で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

感染症は、咳やくしゃみの飛沫によって拡散されます。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

《咳エチケット》

- ・くしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出ている時は、できるだけマスクを着けること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。

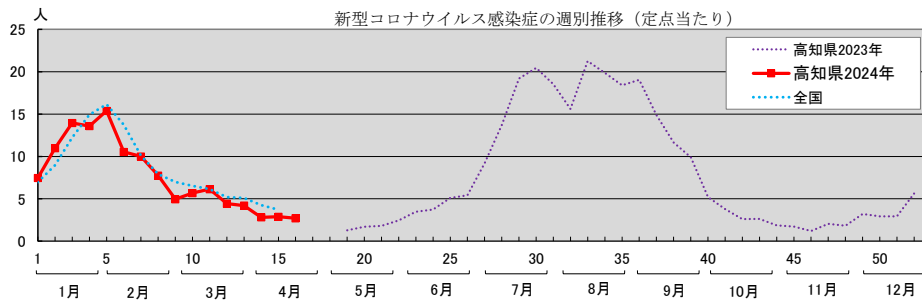


★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第12週 3/18～3/24	195	4.43
第13週 3/25～3/31	185	4.20
第14週 4/1～4/7	124	2.82
第15週 4/8～4/14	127	2.89
第16週 4/15～4/21	119	2.70



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●予防方法

- *手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。
- *密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。
- *医療機関受診時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

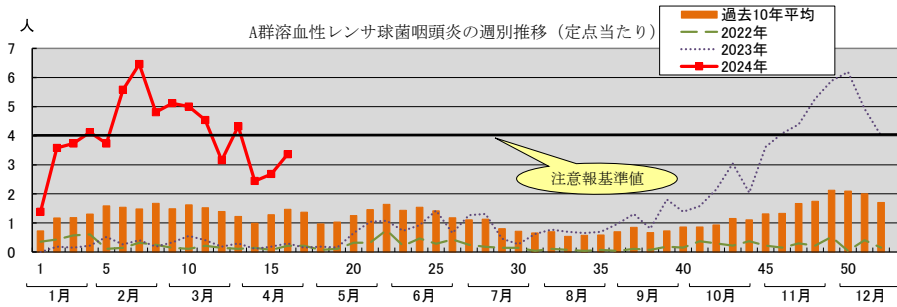
この病気は、A群連鎖球菌による上気道感染症です。

県内では過去10年間の同時期と比較して多い報告数となっています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられま

す。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



●**予防方法**

*患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

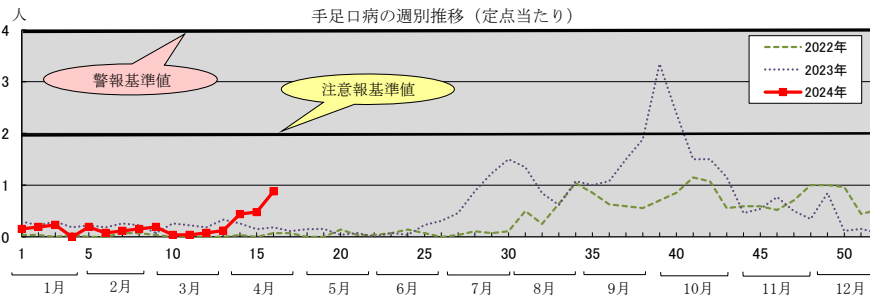
●**学校感染症**

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

手足口病

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



●**予防方法**

- *手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●**学校感染症**

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

★**全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	19	60歳代 男性	安 芸
		1		80歳代 女性	
		1		80歳代 男性	高知市

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
16	-	肝機能	2	女	高知市	human parvovirus B19
16	EBウイルス疑い	40℃	14	男	須崎	Epstein-Barr virus human parvovirus B19
16	不明発疹症	発疹	1	男	須崎	Epstein-Barr virus Human herpes virus 7 Cytomegalovirus
16	手足口病	41℃,発疹	1	男	須崎	Cytomegalovirus
16	手足口病	40℃,発疹	2	男	須崎	Human herpes virus 6
16	手足口病	40℃,発疹	1	女	須崎	Human herpes virus 7
16	不明発疹症	39℃,発疹	4	男	須崎	Human herpes virus 7
16	インフルエンザ	39℃,咳嗽,関節痛,頭痛	13	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
16	インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,咳嗽,咽頭痛	8	男	須崎	Influenza virus B/Victoria
16	インフルエンザ	40℃,関節痛,寒気	8	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
16	-	39℃,咳嗽	1	男	高知市	Parainfluenza virus 1

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 1 例 (15 歳女)
	JA 高知病院小児科	hMPV1 例 マイコプラズマ 2 例 カンピロバクター腸炎 1 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	RS ウイルス気管支炎 4 例 (1 歳 4 人) hMPV 気管支炎 2 例 (2 歳人) ノロウイルス胃腸炎 8 例 COVID-19 12 例 インフルエンザ B 型 4 例
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳女) hMPV 1 例 (2 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑 1 例 (4 歳女) 溶連菌感染症 13 例 手足口病 2 例 インフルエンザ B 型 1 例 COVID-19 8 例
	細木病院小児科	ロタウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳男) hMPV 感染症 5 例 (1 歳女 2 人、2 歳男、2 歳女、6 歳男) 溶連菌感染症 16 例 インフルエンザ B 型 3 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	COVID-19 3 例 インフルエンザ B 型 1 例
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1 例 (8 歳女)
須崎	もりはた小児科	COVID-19 3 例 インフルエンザ B 型 5 例 カンピロバクター腸炎 1 例 ノロウイルス 1 例 手足口病 11 例と増加

保健所	医療機関	情報
幡多	こいけクリニック	hMPV 肺炎 4 例 (1 歳男 3 人、2 歳男)
	さたけ小児科	アデノウイルス 3 例 (2 歳男、4 歳男女) インフルエンザ B 型 3 例 溶連菌 13 例 hMPV 1 例 (1 歳男)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 2 例 (1 か月男、2 歳男)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは2024年4月22日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報 (55 定点医療機関)

第16週 令和6年4月15日(月)～令和6年4月21日(日)

高知県衛生環境研究所

定数名 (定点数)	疾病名	保健所	地域別					計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計)		全国(15週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	R6/1/1～R6/4/21	
インフルエンザ (COVID-19)	インフルエンザ			14	10	1	5	6	36 (0.82)	98 (2.23)	13,245 (2.69)	9,359 (212.70)	1,120,116 (227.16)
	新型コロナウイルス感染症	10	19	61	8	12	9	119 (2.70)	127 (2.89)	18,297 (3.71)	5,432 (123.45)	636,110 (129.00)	
小児科 (25)	咽頭結核膜炎			4	3			1	10 (0.40)	1 (0.04)	1,764 (0.56)	249 (9.58)	45,420 (14.51)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	43	2	10	24	84 (3.36)	67 (2.68)	10,392 (3.32)	1,648 (63.38)	176,158 (56.26)	
	感染性胃腸炎		12	23			4	5	44 (1.76)	56 (2.24)	12,090 (3.86)	1,435 (55.19)	254,534 (81.29)
	水痘		1						1 (0.04)	6 (0.24)	458 (0.15)	42 (1.62)	6,342 (2.03)
	手足口病		4	6	1	11			22 (0.88)	12 (0.48)	1,009 (0.32)	86 (3.31)	9,108 (2.91)
	伝染性紅斑				1				1 (0.04)	1 (0.04)	83 (0.03)	10 (0.38)	907 (0.29)
	突発性発疹				3		1	2	6 (0.24)	2 (0.08)	784 (0.25)	74 (2.85)	9,549 (3.05)
	ヘルパンギーナ		1	2	1				4 (0.16)	1 (0.04)	141 (0.05)	41 (1.58)	1,252 (0.40)
	流行性耳下腺炎								()	()	86 (0.03)	4 (0.15)	1,262 (0.40)
	RSウイルス感染症				10	3	1		14 (0.56)	16 (0.64)	4,448 (1.42)	36 (1.38)	18,341 (5.86)
眼科(3)	急性出血性結膜炎								()	()	12 (0.02)	()	115 (0.17)
	流行性角結膜炎								()	()	365 (0.53)	11 (3.67)	5,563 (8.03)
基幹(8)	細菌性髄膜炎				1				1 (0.13)	()	16 (0.03)	5 (0.63)	120 (0.25)
	無菌性髄膜炎								()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	139 (0.29)
	マイコプラズマ肺炎				1				1 (0.13)	2 (0.25)	55 (0.11)	11 (1.38)	594 (1.23)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	1 ()	()	11 (0.02)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)				1				1 (0.13)	()	8 (0.02)	6 (0.75)	93 (0.19)
	計	11	59	165	16	46	47	344			63,262	18,450	2,285,734
	小児科定点当たり人数	(3.00)	(7.65)	(15.18)	(5.75)	(18.75)	(9.88)	(10.96)				(475.57)	
	前週 (小児科定点当たり人数)	18 (5.00)	89 (10.38)	163 (15.10)	34 (9.75)	39 (16.00)	46 (7.88)		389 (11.60)				

注 () は定点当たり人数。

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第16週)

